

名古屋医療センターにおける乳がん術後理学療法の現状 -2019年度1年間の報告- 肩関節屈曲角度と精神面の心身相関に着目して

渡邊潤子^{1)5)†} 秋山吉孝²⁾ 青木浩美²⁾ 櫻木 聡²⁾
渡辺伸一¹⁾⁶⁾ 堀 直也³⁾ 加藤 彩⁴⁾ 林 孝子⁴⁾

IRYO Vol. 78 No. 4 (245-249) 2024

要旨

国立病院機構名古屋医療センター（当院）では2018年度から乳がん手術患者の理学療法をクリニカルパスに導入し実施している。今後の診療の一助とするため開始後1年間の状況を心身相関に着目して調査検討した。【対象と方法】2019年度にSuction Bulb（以下SB）ドレーンを挿入した片側乳癌手術患者149例のうち、106例を対象に後方視的調査を行った。理学療法内容は入院初日に評価・指導、手術後は手指屈伸を主としSBドレーン抜去後に術後指導・最終評価を実施、標準入院日数は1週間である。評価項目は患者の基本的属性、術式、リンパ郭清の程度、術後（SBドレーン抜去、最終評価、退院）日数の他、運動機能として握力、肩関節可動域、QOLの評価尺度である Functional Assessment of Cancer Therapy-Breast（以下FACT-B）とした。【結果】全員女性で平均年齢は60.2±13.0歳、術側は左62例、右44例、全摘術92例、部分切除術14例であった。術後肩関節屈曲角度85度未満（あり群）と以上（なし群）で分けると、あり群は8人、なし群98人であった。年齢、術前後肩関節屈曲角度、術前後の握力、術後（ドレーン抜去・最終評価・退院）日数、FACT-B総得点に2群の差はなかった。FACT-B下位項目の術前後変化（悪化・不変・改善）で、両群共に半数以上が術後悪化を示した項目は体の具合のせいで家族の負担になっている・痛みがある・片側または両側の腕の腫れや痛みを感じるの3項目であった。なし群のみが半数以上悪化した項目はなく、あり群のみが半数以上悪化したのは体に力が入らないような気がするなど身体的項目3項目、病気を冷静に受け止めている自分に満足しているなど精神的項目3項目、どのような服をどう着るか人目が気になるなど特異的項目2項目であった。【考察】退院前術後肩関節屈曲角度が85度未満であるケースは、痛みのみならず精神的な要因などの影響も考慮しながら関わることやフォローアップ体制の構築を検討する必要があると考えられる。

キーワード 乳がん、肩関節屈曲角度、FACT-B、心身相関

1) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 2) 国立病院機構名古屋医療センター リハビリテーション科 3) 医療法人社団桂文会 堀メディカルクリニック 4) 国立病院機構名古屋医療センター 乳腺外科 5) 名古屋女子大学 医療科学部 理学療法学科 6) 岐阜保健大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 †理学療法士 著者連絡先：渡邊潤子 名古屋女子大学 医療科学部 理学療法学科 〒467-8610 愛知県名古屋市瑞穂区汐路町3-40 e-mail : jnwatana@nagoya-wu.ac.jp

(2023年10月6日受付 2024年4月19日受理)

Current Status of Postoperative Physical Therapy for Breast Cancer at Nagoya Medical Center - 2019 Annual Report - Focusing on the Mind-Body Correlation between Shoulder Joint Flexion Angle and Mental Aspects

Junko Watanabe¹⁾³⁾⁵⁾, Yoshitaka Akiyama²⁾, Hiromi Aoki²⁾, Satoshi Sakuragi²⁾, Shinichi Watanabe¹⁾⁶⁾, Naoya Hori³⁾, Aya Kato⁴⁾, and Takako Hayashi⁴⁾

1) Clinical Research Center of NHO Nagoya Medical Center 2) Department of Rehabilitation, NHO Nagoya Medical Center 3) Hori Medical Clinic, Keibunkai Medical Corporation 4) Department of Breast Surgery, NHO Nagoya Medical Center 5) Department of Physical Therapy, Faculty of Medical Science, Nagoya Women's University 6) Department of Physical Therapy, Faculty of Rehabilitation, Gifu University of Health Science (Received Oct. 6, 2023, Accepted Apr. 19, 2024)

Key Words : breast cancer, flexion ROM of shoulder joint, FACT-B, mind-body correlation